

【2025年度以前入学生】ディプロマポリシー

学位授与方針（ディプロマポリシー）

嵯峨美術大学 芸術学部

本学部の履修規程に定められた卒業必要単位を取得した者には、以下に示す能力を身につけたものと認定し、学士（芸術学）の学位を授与する。

〈芸術を通じた創造力〉

- A-1 本源的な生命の力を感じつつ、主体的に制作活動に取り組むとともに、他者と共鳴し合う場を創ることができる。
- A-2 芸術活動を通じて真理を探究しつつ、社会に向けて情報発信することができる。

〈論理的・批判的思考力〉

- B-1 他者との考え方や文化の相違を受け入れた上で、課題解決型の対話をおこなうことができる。
- B-2 諸情報からの的確に論点を構築し、議論や解決策を組み立てることができる。
- B-3 社会事象を構成する様々な要因を的確にとらえ、健全な批判力をはたらかせることができる。

〈知識・技能〉

- C-1 日本および世界各地の過去から現在に至る芸術文化の諸相を理解し、説明することができる。
- C-2 芸術作品の制作に必要な知識と技能を身につけ、実制作に応用することができる。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

嵯峨美術大学 大学院

芸術研究科修士課程は、以下を満たしていると評価された者に修士の学位を授与する。

- A：広い視野にもとづく、独自性のある表現や研究方法の確立
- B：表現や研究の成果を社会に発信し貢献する力の修得
- C：芸術に関わる専門的な研究の進展

学位授与方針（ディプロマポリシー）

嵯峨美術短期大学 美術学科

本学科の履修規程に定められた卒業必要単位を取得した者には、以下に示す能力を身につけたものと認定して、短期大学士（美術）の学位を授与する。

〔知識・理解〕

- A-1 現在の芸術の動向および理論を理解し説明することができる。
- A-2 伝統的な芸術表現と様式を学び、現代に生かすことができる。
- A-3 現代社会に生起する様々な事象に対してみずからの考えを筋道を立てて述べるができる。

〔論理的・創造的思考力〕

- B-1 柔軟な思考と創造性を発揮できる。
- B-2 問題解決の手法を幅広く検討し、実践することができる。

〔態度・価値観・倫理観〕

- C-1 主体的にテーマ・課題を見出す姿勢を身につけている。
- C-2 他者を尊重し思いやる心を身につけている。

〔技能・技術・表現〕

- D-1 現代の芸術活動に必要な基礎的な造形力を身につけている。
- D-2 芸術の技術を応用し、自らの個性を表現し発信する力を身につけている。

学習成果

嵯峨美術短期大学 専攻科

- A 現代社会と美術やデザインとの関わりを理解し、今後自ら活動していく具体的かつ現実的な展望を他者に説明することができる。
- B 社会の要請に応えるため、調査・分析・企画立案を適切かつ機敏に実行できる。
- C 主体的に研究テーマを見いだし、社会に即応していこうとする強い意欲を身につけている。
- D 美術やデザインにおける高度な専門性を身につけ、それをもとに自らの感性を表現する実践的なプレゼンテーション技能を有している。